

第 53 回全国消防救助技術大会における熱中症対策について

～熱中症ゼロの大会を目指して～

令和 7 年 6 月 1 日、労働安全衛生規則が改正され、職場における熱中症対策の強化が義務付けられました。これに伴い、本大会では、熱中症の予防および重篤化を防ぐため、「熱中症（疑い）が発生した場合の対応要領」を作成しました。また、下記の取り組みを通じて、安全・安心のある大会運営を進めてまいります。

【ご来場のみなさんに やさしい取り組み】

○いつでも水分補給

- ・ マイボトルに水を無料で給水できるウォータークーラー 6 台をクールスポットに設置。
- ・ 飲料水の販売
サントリー株式会社（2,700 本）・キッチンカー 10 台・自動販売機 3 機

○クールスポットで涼しく観覧

- ・ 消防学校内に クールスポットを 2 カ所設定（300 名収容可能）し、講堂の大型ビジョンを見ながら、冷房のきいた涼しい屋内で熱い声援が送れます。

○“涼”を感じる空間演出

- ・ 会場警備スタッフが ジェットシューター（林野火災現場で活用されている背負い式消火装置） による打ち水による涼を提供しながら、会場を巡回します。
- ・ 水を使った防災イベント（消防車による自己噴霧放水） で、学びながら熱中症を予防します。

【選手やスタッフに やさしい取り組み】

○選手ファーストの大会運営

- ・ 式典の簡略化で 開催時間を約 30 分短縮。

○いつでも水分補給ができる体制

- ・ 選手にポカリスエットアイススラリー（大塚製薬株式会社ご提供）を配布。
- ・ 訓練前の隊員招集場所への飲料持参を可能に。
- ・ スタッフに 保冷ペットボトルホルダー 配布し、いつでも飲料が飲める体制を整備。

○新たな熱中症対策資器材の導入による安全な環境を整備

- ・ 熱くなった選手の身体を冷却する 水循環シャワー（WOTA 株式会社ご提供） の体験。
- ・ -79℃の冷却効果が 3 時間継続する ドライアイスを用いた冷却ジャケット（ENEOS アメニティ株式会社ご提供） を、屋外のスタッフに提供。酷暑下でも安全・快適な環境を提供。

熱中症（疑い）が発生した場合の対応要領について

【凡例】

- ……状況
- ……実施事項
- ◇ ……判断

運営責任者 連絡先
☎ 070-2487-2119

熱中症（疑い）の発生

- 作業や観覧の離脱
- 身体冷却
- 安全確保

熱中症が疑われる症状例

◆他覚症状

ふらつき、生あくび、失神、
大量の発汗、痙攣 など

◆自覚症状

めまい、筋肉の硬直、頭痛、
吐き気、倦怠感 など

- ① 返事がおかしい
② ぼーっとしている など
普段と様子がちがう場合
も**異常あり**と判断してく
ださい。

- 作業員・運営等要員の方
→ 当該業務の責任者等に報告
- 訓練観覧の方
→ 運営責任者へ連絡

速やかに報告、連絡がで
きるように無線機や携帯
電話等にて、**連絡手段を
確保**してください。

意識の確認

異常等あり

異常等なし

救護室へ移動

- 救急隊による容態観察など

自己受診
できる

自己受診
できない

休憩等

- 医療機関へ搬送

- 医療機関の受診

回復

回復後に体調が急変することもあるため、関係者
や近親者等と連絡を取り、**体調急変に注意**してく
ださい。異変を感じた場合は、救護室の活用、医
療機関の受診等を行ってください。

できない

自力で水分摂取

回復しない
症状悪化

回復しない
症状悪化

- 水分・塩分の摂取
- 身体冷却等の回復措置

- 経過観察

※ 体調不良者を1人にしないでください。

- 業務や訓練観覧等の継続について、
判断に迷った場合は、運営責任者へ
お問合せください

回復

クールオアシス

打ち水の涼しさ、冷たいお水、クールスポットで、体も心もひと息。
熱中症を防ぐために、こまめな水分補給と休憩を忘れずに。

-  無料ウォーターサーバー(マイボトルをお持ちください♪)
-  ジェットシューターを使った打ち水ゾーン



- 日傘や帽子を持参し、直射日光を避けるようにしましょう。
- こまめな水分補給を心がけ、無理をせず適宜休憩をおとりください。
- 気分がすぐれない場合は、早めに救護所またはお近くのスタッフまでお知らせください。